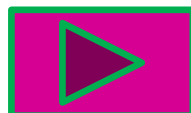
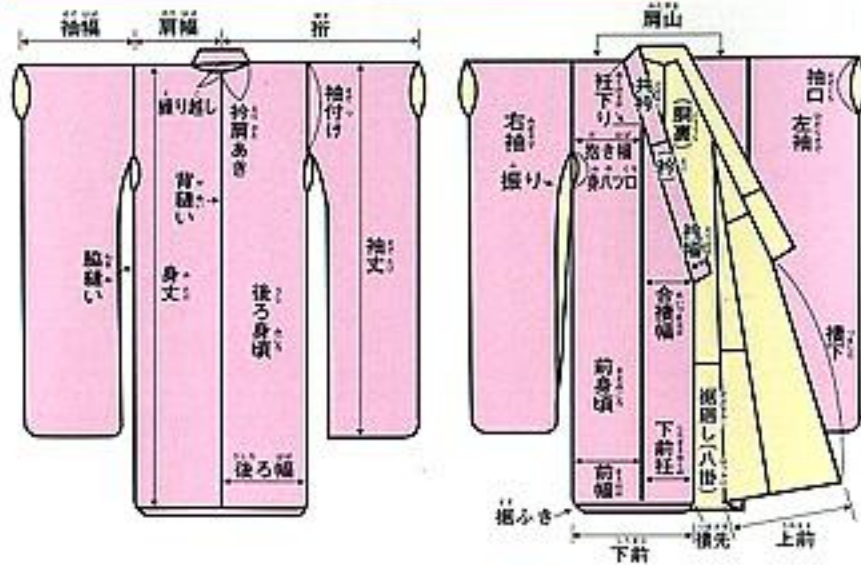


● 知っておけば便利 ●

きものの保存とお手入れ

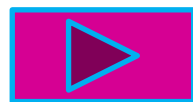
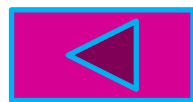


着物の各部分の名称



汚れやすい部分

- 袖・袖口・裾／着用による自然な汚れ、化粧部などが特に汚れる。
- 上前／食べ物、飲み物をこぼすことが多い。
- たもと／襟元の上下など、ふれやすい。
- 灰まわり／履いた時に汚れがくっつく。
- 袷元・たて襟の上部／履いた時、手をふれる回数が多い部分。



アイテムの色々(ミス編)

例えば洋服に、きちっとしたフォーマルウェアがあれば、カジュアルなセーターやパンツがあるように、着物にはそれぞれの持つ「格」によってアイテムのタイプが決まってきます。ここでは、洋服とは違い、ミスがミセスによって、はっきり区別されているものなども含めた「約束事」を紹介しましょう。

振袖

ミスの慶事の第一礼装。花菱が着る本振袖と成人式などで着る中振袖・小振袖の総称です。柄は一面に模様が配置された総模様ついで絵羽模様です。豪華さだけでなく若々しさを演出する、「今、着てほしい」アイテムです。

訪問着

節礼装の一つです。柄は絵羽模様ですが振袖のそれより自由で、肩から裾にかけて模様つけされた肩裾模様が多いようです。ミスの人でも少し落ち着いた気分を味わいたいなら、訪問着に紋をつけると、格が上がる振袖に匹敵します。

付下げ

模様がすべて上向きに配置され、格式の訪問着です。絵羽模様ものと、小紋との中間的な着物で、普段着としてまで、広範囲に着られます。

小紋

洋服の「カジュアルな外出着」にあたり、着物全体と同じサイズの小さな模様がつけられた柔らかい生地に着物の総称です。格式はらず、気軽に着るので、パーティやクラス会、コンサートやちょっとした宴で食事など、応用範囲の広い着物です。小紋のもつ独特の「爽しさ」を大切にしたいですね。

ハカマ

若々しく清楚なハカマ姿は、歩きやすく行動的です。成人式、卒業式など若い時に経験する節目節目に、絶対に欲しいアイテムです。晴着の晴礼装として、中振袖を合わせる他、色無地一つ紋、付下げ、小紋などとも相性がいいようです。



アイテムの色々(ミセス編)

黒留袖

ミスの振袖に対してミセスの慶事の第一礼装。地色は黒で、染抜き五つ紋付きの江戸袷(えとづま)と呼ばれている裾模様を配した着物です。仲人や婚禮のおよばれなど、改まった席にふさわしい、たいへん格式高いものです。

色留袖

地色が白地や色地で、裾模様がついたもの。紋の数によって格式が少しずつ違ってきますが、ほとんど公式の礼装として通用します。

訪問着

お嫁入りするときの訪問着が少し派手になったと感じたら、落ち着いた色柄の訪問着が似合う年頃。袴飾もソフトなイメージにして、気品あふれる装いを楽しめましょう。ミセスならではの切々しい社交装です。

付下げ

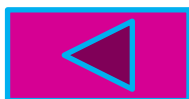
伝統的に着られる着物ですから、帯は用途に合わせて、袴飾、名古屋帯など自由に着こなしてみたいかががでしょう。

色無地

色無地一つ紋は、慶事両方に着られる略礼装で、たいへん重宝します。格式のある高なち、上品な色の着物と模様のあな絞帯を合わせて、少しくだけた席には、名古屋帯と合わせてコーディネートしましょう。また紋のない場合はおしゃれ着として広く利用できます。お茶席などには腰もふさわしい着物ですが、ミスの人でもハカマに合わせるなどして変える帯も応用範囲の広いアイテムの一つです。

小紋

外出着として広く用いられる小紋ですが、中でもおとなしくつつまじやかな江戸小紋は、落ちついたミセスに似合うアイテムです。これも紋の有無や帯によって略礼装や外出着にも利用します。



美しい着こなし(装いのTPO)

冠平紋の着脱	コート	黒・紺 333編	京友禅	大島紬 333編	小紋	江戸巻	付下げ 訪問着	色無地	喪服	色無地	留袖	
	*		*				*				*	成人式
	*		*			*	*	*	*	*	*	冠婚葬祭
*	*		*		*	*	*	*	*	*	*	パーティー 贈答会
*	*		*		*	*	*	*			*	お見合 ・結婚
*	*	*	*		*	*	*	*			*	お正月 初詣で
*	*	*	*		*	*	*	*				ご挨拶の ご訪問
*	*	*	*		*	*	*	*	*		*	入学式 卒業式
*	*		*	*	*	*	*	*				結婚 観音 コンサート
*	*		*	*	*	*	*	*				お祝いごと
*	*		*	*	*	*	*					デート ・初婚
*	*		*	*			*					旅行
							*	*				不祝儀

※このほかにも着用が可

●着物お揃えプラン

美しい着物ライフのために計画的にお揃え下さい。

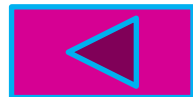
24才	23才	22才	21才	20才	19才	18才	年齢 別
留袖	小紋	大島紬・つむぎ・紬手絞り	付下げ訪問着	京友禅・道行きコート	喪の礼装・色無地	振袖・雨コート	例1
留袖	大島紬・つむぎ・紬手絞り	喪の礼装・色無地	小紋	付下げ訪問着	振袖・雨コート	京友禅・道行きコート	例2



美しい着こなし(着物と帯・小物の合わせ方)

着物には、着ていく場所と目的に合わせて、それぞれ異なることがおきます。装いの美しさは自身体も、もちろん大切なことですがその前提として、下の表に添えてあることをぜひ知って読んで下さい。あなたの着物姿に風格と美しさが生まれれます。

浴衣	夏の着物										春・秋・冬の着物										色もの	
	おしゃれ着		略礼装				礼装				おしゃれ着		略礼装				礼装					
	組りの着物		決めの着物				組りの着物				決めの着物				組りの着物							
	縞・上布	夏大島	紗	縞小紋	縞下拵	絞色無地	絞訪問着	絞腰股	招留袖	招振袖	尾城袖	大島袖	小紋	江戸小紋	付下げ	色無地	訪問着	喪服	色留袖	黒留袖	振袖	
	浴衣・上布は縞、縞は口取帯は白	縞は浴衣・上布、縞は口取帯	可、縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯	浴衣・上布は縞、縞は口取帯
	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞	縞、上布は縞



衣 替 え

衣替えは日本の風土に即した行事で、現在は地域的な温度差、冷暖房の普及によって、着物は実際の気温と季節感で、自然を楽しむ感覚になりつつあります。例えば、夏に向かって季節に先かげることや、長襦袢と帯、小物は着物より早めにするなどです。また、季節的なものは、その時期の少し前から終わる頃までが常識になっています。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月		
袷		単衣		薄もの		単衣		袷				きもの	
冬用			夏用				冬用					帯	
袷		単衣						単衣 おしresh		袷			コート・羽織
袷無双または袷		単衣		絹・麻		単衣		袷無双または袷				長襦袢	
帯あげ(絞り・縮緬・縮子)			帯あげ(絹)・夏物帯締め				帯あげ(絞り・縮緬・縮子)					小物	
塩瀬・縮緬			絹・麻				塩瀬・縮緬					半衿	

■現代の衣替えの時期



着る前にすること・外出から帰ったら

着る前にすること

- 前日にタンスから出し、着物ハンガーに掛け、息を通して
たため、シワや防虫剤のにおいを取りましょう。

着る時にすること

- 手や首筋はよく拭き、清潔にしておきます。
- 立つ場所、着物をおく場所に敷紙を敷きます。
- お化粧は着る前にします。
- 所輪や時計を付けるなら着付けてから、取るのは脱ぐ前に。

お出かけの時

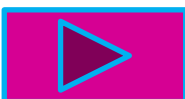
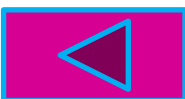
- ベーパータオルをバッグに入れて置くとか何かと便利です。
- ハンカチを余分に用意して食卓ではナフキンがわりに、座
るときは敷物に。

外出から帰ったら

- 着物を脱ぐ前に、まず手を洗います。
- 敷紙を広げて、その上で脱ぐか干してしまってください。
- 着付けた時と逆の順序で「しほしほ」はすして「ごうごう」を
着物と長襦袢は別々の着物ハンガーに、帯は洋服用のハン
ガーに掛け、風通しのよい所に2時間ほど吊し、湿気や体
温の湿もりを取ります。
- 履き物、伊達巻締め、海苔ピア、帯締めなども椅子の背などに
掛けるか干すかお風呂場へお風呂敷して干す。

シミや汚れを点検して拭き取り。

- ホコリを落としておきなをうすうす、シミや汚れがなくなると入替
入替です。
- シミや汚れがある場合は、お風呂敷やお風呂敷で拭き取りま
す。



小物のお手入れ(上手な片付け方)

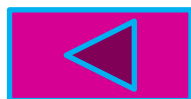
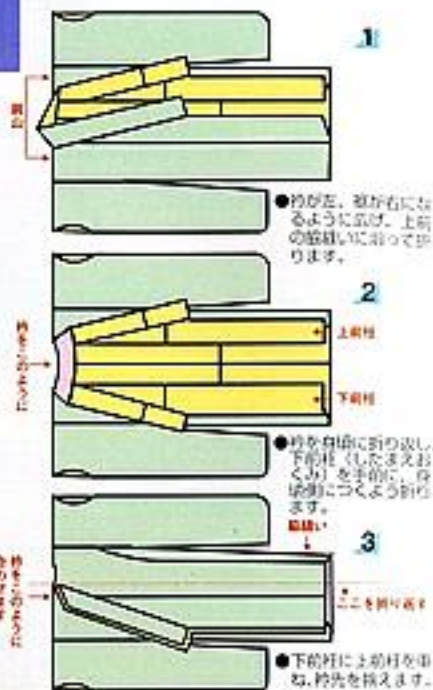
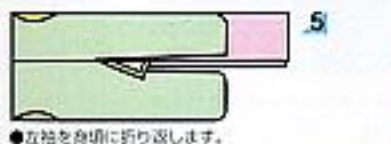
- **草履**……ホコリを払い、しばらく陰干しをしてから
しまします。
- **伊達締め**……片方からクルクルと巻いてしまします。
- **帯揚げ**……絞りは中表にして軽く巻きます。輪子類はシ
ワをのぼし巻いておきます。
- **帯締め**……房は軽くとかし、和紙を巻いてテープで留め
ておきます。房の乱れは、蒸気に当てながら
整てときます。
- **半衿**……その日のうちに長襦袢からはずします。汗じ
みなどはベンシンで拭き取れば落ちます。汚
れがひどい場合は、中性洗剤で軽く手洗いし
て陰干しをします。
- **裾よけ**……合成繊維の場合は洗濯機で、絹ものは軽く手洗
いして陰干しをします。
- **肌襦袢**……そのまま洗濯機で丸洗い、乾いたらアイロン
を掛けてしまします。
- **足袋**……脱いだらすぐぬるま湯につけておくと、汚れ
が早く落ちます。
- **腰ひも**……シワをのぼしながら五角形にたたんでおくと
自然にシワが取れます。



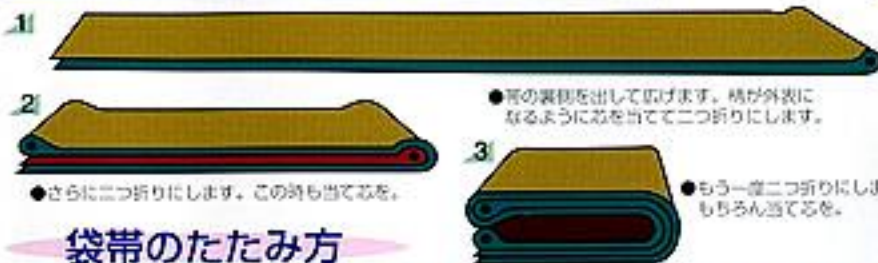
着物のたたみ方(上手な片付け方)

本たたみ

男物・女物・子供物・すべての着物の
 たたみ方。
 収納もしやすい、基本的なたたみ方が
 「本たたみ」です。



帯のたたみ方(上手な片付け方)



1

2

●帯の裏側を出して広げます。柄が外表になるように芯を当てて二つ折りにします。

3

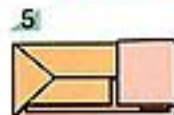
●もう一度二つ折りにします。もちろん芯を。

袋帯のたたみ方

なごや帯のたたみ方



●伸ばした両端は、お太鼓と同帯の端の、最初に開いた部分より少し手前で折り返し、重ねます。



●収納場所が狭い時には、互の三角の部分とおめたれの部分を折りたたみます。



3

●両端を先ほど平らに伸ばした部分と平行するように折り返し、平らに伸ばします。

1

●お太鼓の表側を下にしたれをむに置きます。両端とお太鼓との境をきれいに併せて三角に折ります。

2

●前折部分をお太鼓の裏側に平らに伸ばします。さらに、たれ先の中央に三角の角が重なるように、両端を折り返します。

折り筋がつかないように折り返し部分の輪に、綿で作った芯や和紙を棒状にしたものを当てます。



美しい着物の装い



- 鼻緒に指が入りにくい場合には、片方の台の内側につま先を押しつけるようにすると上手に履けます。

ぞうりを履く、脱ぐ



- 脱ぐ時は、片方ずつつま先を浮かせて足を台の上まで滑らせるようにします。

椅子に腰かける



- 左手で両袖のたもとを持ち、右手で上前を押しえながら、浅く掛けます。

- 体の向きはやや斜めにと坐ります。両袖はひざの上に、ややクロスするように置くと滑り落ちにくくなります。



椅子に腰かける時は、浅く掛けることが着くすれしないポイントです。

歩く



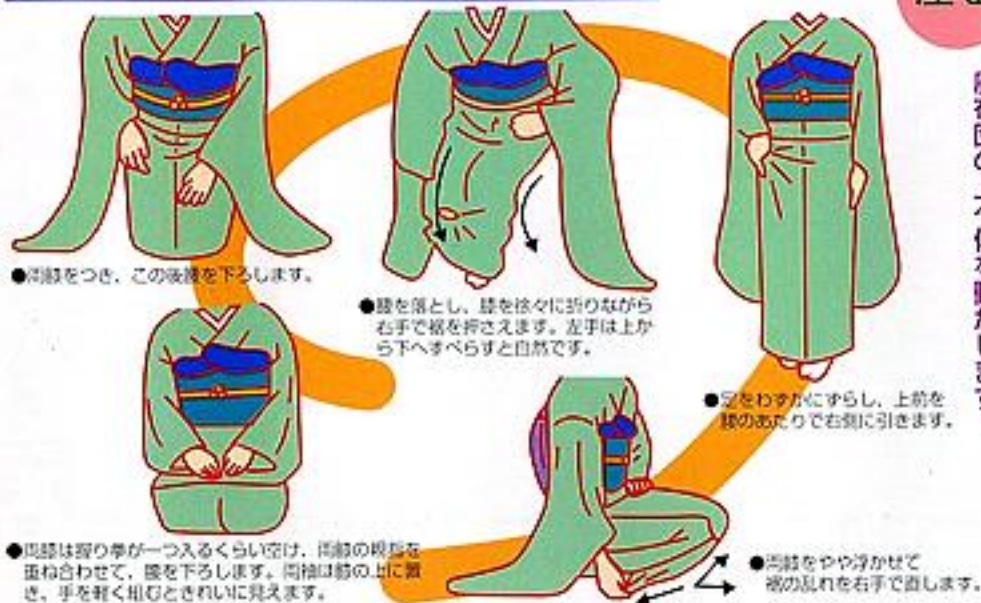
歩きやすくするために、はじめてのぞうりは鼻緒をゆるめましょう。

- 内股気味に、歩幅は狭く真っ直ぐ歩く。部屋の中ではすり足で歩きます。階段では、両袖のたもとを優しくかばいます。両袖のたもとを左手で持ち、右手で着物の合わせ目をたぐり上げて、体はやや右向きに。また、昇る時も正面に真っ直ぐでは裾を引きずってしまいます。車、エスカレーターでも同じです。

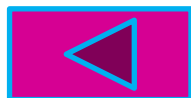


美しい着物の装い

座る



座布団がある時は、始めから直接座らずに手前で正座してから、にじるようにして、座布団の上へ体を動かします。



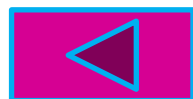
美しい着物の装い

車にも優雅に乗りましょう

車の乗り降りは、まず座席の位置が肝心。車内をいざって道のは大変。乗降の際は、移動せずにすむ場所に座りましょう。



袖の始末をして、腰、頭、足の順で車に乗ります。ただし、2ドアの車やシートが高い車などでは、後ろ向きにではなく前向きで据を持ち、頭、足、腰の順で乗ると良いでしょう。



美しい着物の装い

トイレに行きたくない時は

確かに、着物を着た時の一番の心配はトイレ。できればお式を選んで、きちんと手順を辿って対応すれば、問題はありません。

- 3 袂の処理は、帯メに袂を以て外体の前で軽くひと結びする方法もあります。どちらも実際に試してみて、やりやすい方を選ぶと良いでしょう。



- 2 左右の袖を留めたら、上前から横に帯を持ち上げてまとめます。帯に挟んで帯に挟んで留めるという方法もありますが、帯がゆるみやすいのでしっかりと片手に持っていた方が良いでしょう。下着はビネニタイプの上げ下げしやすいものが良いでしょう。

- 1 本来は袂の処理が先決。袖の巾ほどをつまんで、帯メにしっかりと挟み込んで留めます。トイレの時以外でも、手を洗ったり、袂がじゃまな場合はこのようにするとよいでしょう。



収納について



和ダンスのしまい方

- 二種類以上を同時に使わないこと。
- 箱物の上にも直接置かないこと。紙に包んでダンスのすみに。
- 空・縫製工のあるものには使わない。変色する恐れがあります。

使う場合の注意点

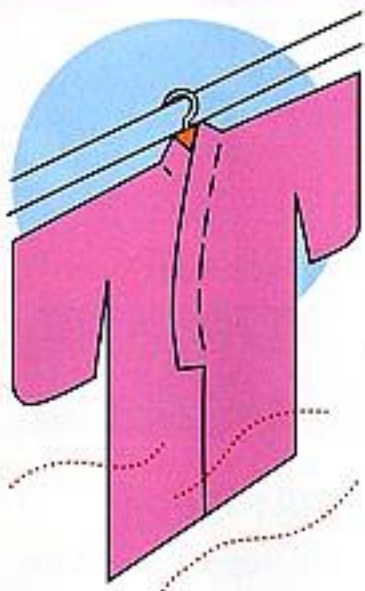
収納が桐ダンスや桐の衣装箱であれば、防虫剤も防湿剤も
いりません。防虫剤を入れておけば保存中も安心と安易
に使ってはなりません。

防虫剤・防湿剤の知識

着物の収納には、やはりなんといっても桐ダンス
が一番です。その他、桐の衣装箱を利用するの
もベスト。桐は、桐が呼吸できるということ、着
物の大敵、湿気を呼ばないというのがその理由で
す。着物と帯はそれぞれのたとう紙に包んでしま
います。



虫干し



干し方

- 晴天が3日以上続いた後の晴れた日に、風通しがよく日の当たらない所に着物を1枚ずつ裏返して、着物ハンガーに掛け2〜3時間吊しておきます。
- 帯や小物もタンスから出し、風を通してあげましょう。
- タンスも開け放し、半日ぐらい空気を入れ換えましょう。そして、しまうときは防湿剤や防虫剤を取り替えると安心です。

※地域によって多少異なります。

目的

- 風を通して湿気を払う。

- 害虫を除く。

- 点検をする。傷んでいたら、早めに処理する。

時期

- 7月下旬〜8月上旬（土用干し）

- 10月下旬〜11月上旬（虫干し）

- 1月下旬〜2月下旬（寒干し）

一年に一回は、虫干しをしましょう。

現代家屋は、密閉度が高く湿気がこもり易い構造になっています。

